一般社団法人　日本リハビリテーション工学協会

2021 年度第 4 回（通算第 72 回）理事会（臨時）　議事録

１．開催日時 : 2021（令和 3）年 8 月 28 日（土） 11:49～11:58

２．場　　所 : Web 会議システム(Zoom ミーティング:ウェビナー)

３．審議事項および資料
　第１号議案（決議）2020 年度決算案（収入および支出）について

4. 理事総数　　14名
　出席理事数　　14名
　　会長(代表理事)　桂律也
　　理事　　石濱裕規、植田瑞昌、江原喜人、岡野善記、剣持悟、杉本昌子、鈴木太
　　谷口公友、中村俊哉、西村顕、水澤二郎、村田知之、森田千晶
　　監事　　赤澤康史、伊藤和幸
　　事務局　　深野栄子(事務局長)、沖川悦三(事務局参与)
　欠席理事　　なし

5. 議事の経過の概要及び議決の結果
（1）本理事会は Web 会議システム（Zoom ミーティング）を利用し実施した。開催の冒頭において、各出席者の音声や映像が即時に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等の相互に充分な議論を行うことができる環境となっていることを確認した後、議案の審議に入った。
（2）定款第 49 条に基づき、議長となる会長の桂律也が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。
（3）議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の岡野善記と鈴木太の２名を選出した。

第１号議案（決議）2020 年度決算案（収入および支出）について
　財務担当の岡野理事より、2020 年度の決算案について追加及び修正を行い再作成したもの（決算報告書（貸借対照表、損益計算書、事業費・管理費内訳書等)、比較決算報告書（貸借対照表、損益計算書、事業費・管理費内訳書等)、試算表、部門別総括表）が提出され、審議の結果、満場一致で承認された。
　また再監査報告が提示され、審議の結果、満場一致で承認された。

　１．監査の方法および内容
　　各監事は、理事および事務局長と意思疎通を図り、オンライン形式となった理事会に出席して事業報告を受けたほか、会計帳簿ならびに決算書類につき閲覧調査した。
　２．監査結果
　　1）業務執行状況について監査した結果、理事の職務は法令および当会の諸規定に則り執行されたことを確認した。新型コロナウイルス感染症の影響は引き続き大きく、主要事業を含め年度内に実施できなかったイベントがあった。
　　2）決算報告書、証拠書類等について監査した結果、本会の財産は適正に管理されていたものと認める。
　３．付帯意見
　　1）会計において計上漏れや勘定科目コードの転記誤りがあり、会員に提示した決算書の修正に伴

って事業報告の再提出となった。しかしながら、悪質なものではなく金額も全体に対して0.3%未満であり、事業の健全性に影響はないものと判断する。

2) 主要事業であるリハ工学カンファレンスや福祉機器コンテストが延期を余儀なくされる中、次年度実施に向け準備段階からオンライン形式で打合せやプレイベントを実施するなど、関係各位の努力が継続されている。
3) ２年連続で単年度黒字となったが、新型コロナウイルス感染症の影響による事業費支出減とシステム改善等による管理費削減効果の両方の要素がある。次年度以降も油断せず計画的な事業実施をお願いしたい。
4) SIGを法人組織にする取組みが年度内に完了しなかったことは残念であった。人口減社会やコロナ禍にあって地域支部やSIGの活動はさらに重要になってきている。活動基盤整備への理事会の精力的な取組みと幅広い会員の積極的な参画に期待する。
5) 事業継続性をさらに強固にするため、事務局体制の強化を含めた検討を引き続きご検討願う。

承認13、非承認0　（会長除く）

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の2021（令和3）年度第4回（通算第72回）理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（12時00分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2021年8月28日
一般社団法人日本リハビリテーション工学協会2021年度第4回理事会

議　　長　　桂律也

議事録署名人　　岡野善記

議事録署名人　　鈴木太